

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
道徳教育	①学校生活全般を通して、一人一人が互いのよさを認めあい、自己肯定感を高めあう取り組みを展開する。 ②あいさつの大切さや礼儀正しい態度を学び、思いやりや感謝の気持ちを育て、子どもたちの好ましい人間関係を築いていく。 ③一人一人を大切にし、誰もが、安全で、安心して生活できる環境を整備する。そのために児童理解、教育相談、YP実践、特別支援教育研修等に努め、いじめを許さない風土を学校全体でつくる。
担当	人権推進 道徳推進 道徳部

豊かな心に関わる本校の状況
<p>(1) 豊かな心に関わる児童生徒の実態</p> <p>①横浜市学力・学習状況調査の意識調査によると、「自分には、よいところがあると思いますか。」や「自分のことが好きだと思いますか。」といった自尊感情にかかわる部分が、学年が上がるごとに低くなっていることが分かる。日常的に活躍の場面をつくり、達成した際には、大いに称賛するなどの支援が必要である。</p> <p>②「あいさつを自分からすすんでしていますか。」という設問では、半数以上の児童が「している」という回答をしている。昨年度も、積極的にあいさつに取り組んでいた成果が現れつつあるのだと考えられる。あいさつされれば返すという児童が多いことも分かる。今後も継続し、自発的なあいさつとなるように指導していく。</p> <p>③場に応じた言葉遣いや自分の気持ちを言葉で表現するなどコミュニケーションの取り方が、上手にできないため、トラブルになることがあり、指導する場面がある。</p> <p>(2) これまでの学校の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が、ねらいとする道徳的価値を自分の課題として受け止め、豊かに感じ、いきいきと表現して、よりよく生きようとする意欲を自ら育むような時間を設定していく。 ・子ども一人一人の能力に応じた適切な指導や必要な支援が行われ、豊かな心が育ち充実した生活が送れるようにする。(個別の教育支援計画、特別支援教育の充実、国際教室の推進)

今年度の目標
<ul style="list-style-type: none"> ・他者との関わりや豊かな体験を通して、自尊感情、自己肯定感を高める。 ・全教育活動を通して、道徳教育の充実を図る。 ・自分の考えを明らかにし、多様な表現活動を行うことにより、コミュニケーション能力を高める。

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	<ul style="list-style-type: none"> ○児童のたてわり活動を年間を通して行い、学年に応じた目標達成を目指しながら交流を深めていく。 ○「道徳」の充実を図る。題材と展開の工夫により、道徳科授業の充実を図っていく。道徳教育のよりよい在り方について、学年やブロック内で情報を共有し、授業の改善を図っていく。 ○気持ちのよいあいさつがさらにできるように、あいさつ運動の活動を推進していく。 ○YPアセスメントシートを実施し、児童の実態を共有し、支援にあたっていく。 ○子どもの社会的スキル横浜プログラムの活用で自分、仲間、集団作りをしていく。 ○自分作りパスポートを基に、様々な活動の際に目標を立て、ふりかえりを実施していく。 ○朝会などで校長や児童支援専任が、「いじめはしない、させない、ゆるさない」などと繰り返し話をしていく。 ○人権教育推進校としてのねらいや具体的な取り組みについて、学校全体で共有し進める。
下半期	<ul style="list-style-type: none"> ・「道徳」の充実を図る。題材と展開の工夫により、道徳授業の充実を図っていく。道徳教育のよりよい在り方について、学年やブロック内で情報を共有し、授業の改善を図っていく。 ・気持ちのよいあいさつがさらにできるように、あいさつ運動の活動を推進していく。 ・YPアセスメントシートを実施し、児童の実態を共有し、支援にあたっていく。 ・スポーツフェスティバルや学習発表会などの活動を通して、一人一人がお互いを認め合い、高め合うことができる活動を推進していく。 ・全校による人権週間での取り組みや様々な活動や体験を通して、「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校づくりを推進していく。 ・人権教育推進校としての取り組みについてふり返り、次年度に活かす。